

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
スポーツ健康学科三年制 ビジネスコース											
スポーツ用品論											
対象	1年次	開講期	後期	区分	選	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	小松雅樹			実務経験	無	職種	専門学校教員				
授業概要											
スポーツ産業を構成する諸産業に分解し、特にスポーツ用品の小売り業に焦点をあて、産業構造、商品特性、流通のしくみについて解説します。											
到達目標											
①スポーツ用品業界に関する基礎知識を身に付けます。②各種スポーツ用品の特性や機能についての知識や経験を増やします。③スポーツ用品業界の現状を把握し、就職活動に活かします。											
授業方法											
スポーツ関連産業の中でも大きな位置をしめる「スポーツ用品産業」について、各用品の現在のトレンドや課題・問題点、スポーツ用品として扱われる商品多様性やそれらの特徴を学びながら、スポーツ用品産業全般についての基本的な知識や理解を深めます。											
成績評価方法											
成績評価については、筆記もしくはレポートによる試験結果（中間/期末/定期的な提出物など）30%、授業中の参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）30%、出席状況40%とし、授業内における達成度・到達度を総合的に判断して行います。なお、成績評価を受けるためには、全授業の75%以上の出席が必要となります。											
履修上の注意											
各業界からの講師を招いて実施する講義となるため、実施日程に調整が入る可能性があります。また、外部施設を使用した授業を行うことがありますので、受講姿勢や施設使用のマナー・エチケットに注意します。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。											
教科書教材											
授業に必要な教材資料等については教員にて準備・配布する。参考書等を使用する場合には授業内にて指示する。											
回数	授業計画										
第1回	イントロダクション1：スポーツ用品産業の歩み、スポーツ用品市場の規模と推移について理解します。										
第2回	イントロダクション2：業界構造と業態変化、販売職の現状と将来について理解します。										
第3回	テニス用品（実習）：テニス用品を実際に使用して、道具の機能特性と取扱い方法を体験します。										

スポーツ用品論

第4回	テニス用品（講義）：テニス用品に含まれる、ラケット、ボール、シューズ、ウェア、その他関連器材について理解します。
第5回	トレーニング器材（実習）：トレーニング器材を実際に使用して、道具の機能特性と取扱い方法を体験します。
第6回	トレーニング器材（講義）：トレーニング器材に含まれる、フリーウェイト、ウェイトマシン、ファンクショナルエキップメント、その他関連器材について理解します。
第7回	ゴルフ用品（実習）：ゴルフ用品を実際に使用して、道具の機能特性と取扱い方法を体験します。
第8回	ゴルフ用品（講義）：ゴルフ用品に含まれる、クラブ、ボール、シューズ、ウェア、その他関連器材について理解します。
第9回	ランニングシューズ（講義）：ランニングシューズの構造、機能、製造工程、種類、市場動向などについて理解します。
第10回	アウトドア用品（講義・実習）：アウトドア用品の構造、機能、取扱方法や就職先としての業界動向などについて理解します。
第11回	スポーツバイク（展示会见学）：スポーツバイクの大型展示会に参加し、最新のスポーツバイク業界の動向について理解します。
第12回	スポーツバイク（講義）：スポーツバイクの歴史や発展過程、構造、機能、取扱方法や最新の業界動向などについて理解します。
第13回	スキー用具（講義）：スキー用品に含まれる、スキー、ブーツ、ウェア、その他の関連器材の構造や機能について理解します。
第14回	スポーツ用品製造・流通：スポーツ用品メーカーの歴史や役割、そして現在の業界動向について理解します。
第15回	授業総括：スポーツ用品業界全体の将来的展望や職業的可能性について理解します。